



様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)



産業廃棄物処理計画書

2023年 6月 29日

都道府県知事
佐藤 樹一郎

殿

提出者
住 所 〒877-0054
大分県日田市大字高瀬6979
氏 名 サッポロビール株式会社九州日田工場
工場長 神山 剛
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 0973-25-1111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	サッポロビール株式会社 九州日田工場
事業場の所在地	大分県日田市大字高瀬6979
計画期間	2023年4月1日から2024年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	飲料・たばこ・飼料製造業ー酒類製造業ービール製造業 [1022]
②事業の規模	製品出荷額 8,003百万円
③従業員数	2023年3月末現在 約100名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<div><div>発生源</div><div>廃棄物</div><div>処理</div></div> <div><div>製造工程</div><div>廃棄プラスチック</div><div>木くず</div><div>廃水処理工程</div><div>汚泥</div><div>汚泥脱水設備</div><div>脱水汚泥</div></div> <div><div>セメント助燃材 セメント原料化等</div><div>燃料 再商品</div><div>肥料化</div></div> <div>委託処理</div>

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	12707 t	t
	(これまでに実施した取組) 当工場内の汚泥脱水施設で中間処理を実施。 処理方法：ベルトプレス方式（含水率65～75%）、処理能力：170t/日		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	13110 t	t
	(今後実施する予定の取組) 当工場内の汚泥脱水施設で中間処理を実施。 処理方法：ベルトプレス方式（含水率65～75%）、処理能力：170t/日		

(第5面)

②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	ガラス・陶磁器くず	木くず	汚泥	動植物性残さ
	全処理委託量	33 t	1 t	5 t	14750 t	0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	33 t	1 t	5 t	120 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	33 t	1 t	5 t	14750 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>処理業者と委託契約を締結するにあたっての事前の現地確認(処理状況、維持管理状況等)と、委託後の定期的な確認。 マニフェストの管理を徹底する。</p>					
※事務処理欄						